

.....

.....

.....

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[40]歳、勤続年数[23]年、現場経験年数[23]年、階級[消防士長]、同様の活動 [初めて]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[30]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[12]年、階級[消防士]、同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	A	関係者に状況聴取	状況・進入可能窓の情報
経過2	B	目視及び嗅覚・聴覚で異常ない	
経過3	A	進入と玄関の開錠指示	
経過4	B	浴室前室の窓（高さ1.8?）より内部進入	隊員1名
経過5	B	玄関を開錠し救急隊3名で内部検索開始	
経過6	A	浴室で傷病者と練炭を発見	
経過7	A	隊員に各室の開口部の開放を指示	
経過8	A	隊員の体調変化を聴取し異常なし	
経過9	A	患者観察開始	
経過10			

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかった。その他：時間的な経過により、室内のCO濃度が拡散希釈されていたと思われる。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

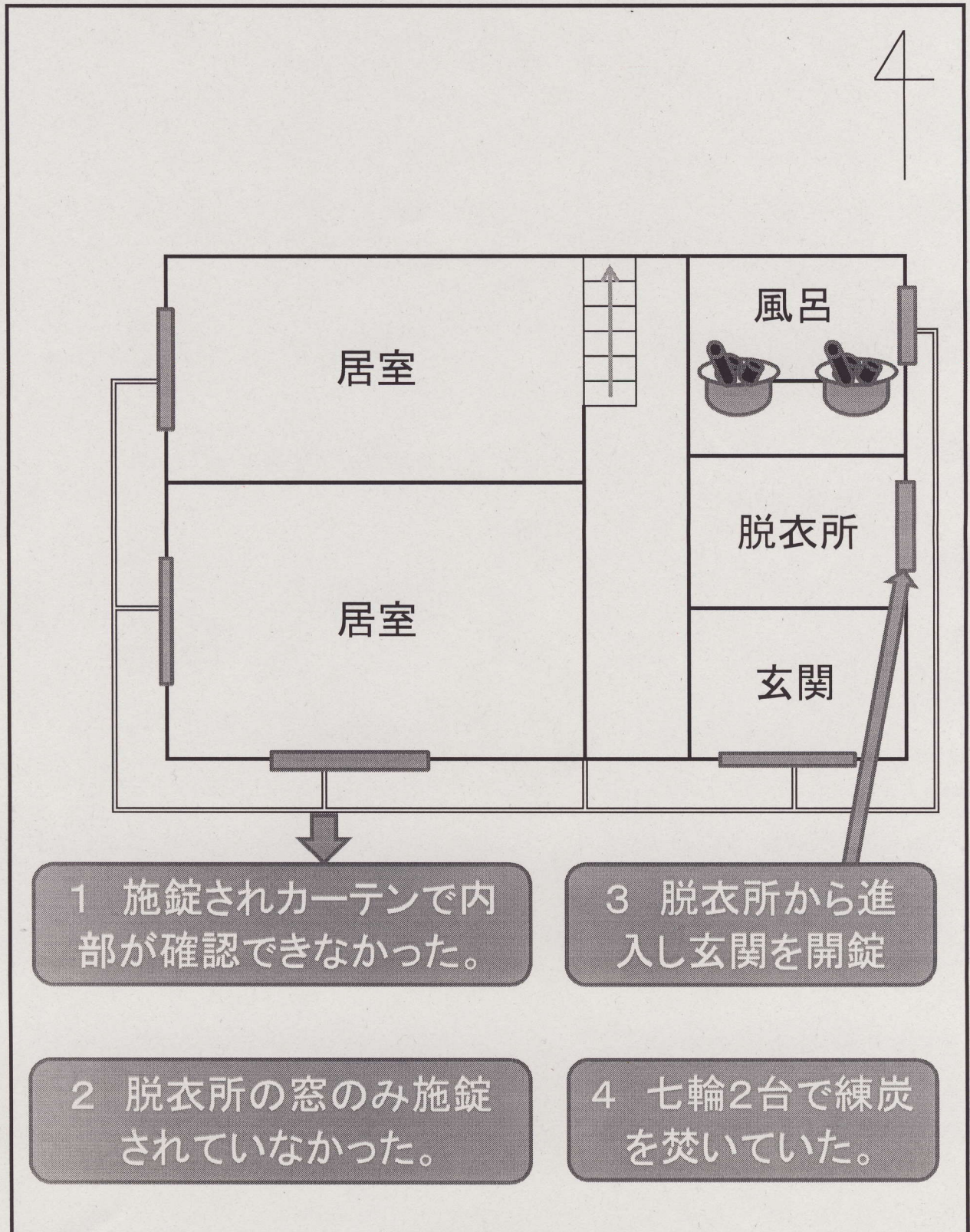
・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ	
-----	--

現場見取図



・発生日時 :平成17年12月9日 午前10時頃

経過	現場の状況	隊員A	隊員B	備考
		車長／消防士長 ・年齢 40歳 ・勤続 23年 ・現場 23年 ・同様の活動:初めて	隊員／消防士 ・年齢 30歳 ・勤続 12年 ・現場 12年 ・同様の活動:初めて	
出動指令 出動途上 現場到着 活動初期	救急事案への出動指令			救急出動
		現場到着		
	住宅は玄関施錠及びカーテンが閉鎖されている	関係者に状況聴取	目視及び嗅覚・聴覚で異常ない	
		進入と玄関の開錠指示	浴室前室の窓(高さ1.8?)より内部進入	内部の情報が不足し、かつ、活動中に起こりうる危険に対する意識が欠如した状況
活動中期	浴室は、七輪2台で練炭を焚いており酸素欠乏状態 CO中毒の危険	玄関を開錠し救急隊3名で内部検索開始		
		浴室で傷病者と練炭を発見		
		隊員に各室の開口部の開放を指示		
		隊員の体調変化を聴取し異常なし		
活動後期		患者観察開始		

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

○直接的な原因:状況判断に問題があった。
・たまたま、負傷事故にならなかった。
・時間的な経過により、室内のCO濃度が拡散希釈されていたと思われる。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

(心理・体調について)
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
(活動環境について)
・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。
・狭隘な場所であった。
・野次馬が多かった
(指揮・管理について)
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)